



平成27年12月25日

各 位

上場会社名 津田駒工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 高納 伸宏
 (コード番号 6217)
 問合せ先責任者 専務取締役総務部長 竹鼻 達夫
 (TEL 076-242-1110)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年10月2日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年11月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年12月1日～平成27年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	36,800	△200	△250	△250	△3.91
今回修正予想(B)	37,000	△300	△400	△450	△7.04
増減額(B-A)	200	△100	△150	△200	
増減率(%)	0.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年11月期)	34,735	△1,207	△1,161	△1,263	△19.77

平成27年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年12月1日～平成27年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,300	0	300	300	4.69
今回修正予想(B)	34,300	50	400	△850	△13.29
増減額(B-A)	0	50	100	△1,150	
増減率(%)	0.0	—	33.3	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年11月期)	32,587	△913	△630	△788	△12.34

修正の理由

(連結)

繊維機械事業においては、単体ベースでは概ね計画通り推移いたしましたものの、連結ベースでは、中国子会社の不振等もあり、また、工作機械関連事業においては自動車関連設備の投資の遅れ、EMSの低迷等も発生し、全体では計画を下回る見込みです。

また、中国連結子会社である津田駒機械製造(常熟)有限公司において、立ち上げの遅れと近年のウォータージェットルーム市場の冷え込みにより業績が低迷いたしましたことから、固定資産の減損損失約60百万円を計上する見込みです。

この結果、通期の業績予想につきましては、売上高37,000百万円、営業損失300百万円、経常損失400百万円、当期純損失450百万円に修正いたします。

(個別)

業況につきましては上記の通りであります。

営業利益、経常利益とも予想を上回る見込みとなりました。一方、当社が保有する上記中国連結子会社の株式および債権について総額約1,200百万円の特別損失を計上する見込みです。

詳細は、本日開示いたしました「特別損失の計上に関するお知らせ」に記載の通りであります。

この結果、通期の業績予想につきましては、売上高34,300百万円、営業利益50百万円、経常利益400百万円、当期純損失850百万円に修正いたします。

(注)上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上